

市国民健康保険に加入している特定健診未受診の人へ  
土曜日特定健康診査を実施します

問 保健センター ☎48-3751

市国民健康保険は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査を実施しています。希望者は、肝炎ウイルス検診・がん検診も受けられます。特定健康診査・肝炎ウイルス検診は無料です。

**時** 1月20日(出)、27日(出) ①8時30分～②9時～  
③9時30分～④10時～⑤10時30分～

※①③⑤は胃がん検診と同時受診です（別途要費用）。

**所** 保健センター

**対** 市国民健康保険加入者のうち40歳以上（1984年3月31日以前生まれ）で、令和5年度の特定健康診査を受診していない人

※職場などで健診を受ける機会のある人、令和5年度に保健センターの生活習慣病予防健診を受診した人は除きます。

**定** ①③⑤各10人②④各15人

**申** 12月6日(水)よりあいち電子申請・届出システム  
又は電話



## ▼特定健康診査

**内** 診察、身体測定（身長・体重・腹囲）、血圧測定、検尿、血液検査（脂質・糖・肝機能など）、貧血検査、心電図検査、眼底検査

## ▼肝炎ウイルス検診

**内** B・C型肝炎ウイルス検査

**対** 過去に受診歴がない人

## ▼がん検診

内容	料金
胃がん検診	2,000円
肺がん検診	300円
大腸がん検診	500円
前立腺がん検診	1,000円

- ・前立腺がん検診は50歳以上（1974年3月31日以前生まれ）の人が対象です。
- ・70歳以上（1954年3月31日以前生まれ）の人は無料です。
- ・市民税非課税世帯の人は無料です。申し込み時に申告が必要です。

## 水道管の凍結に注意してください

問 水道課給水業務係 ☎95-9914

気温がマイナス1～2度以下になると、むき出しになっている水道管や建物の北側にある水道管などが凍結し、破裂することがあります。



## ▼凍結予防方法

水道管にタオル、保温チューブなどの保温材を巻いた上からビニールテープやガムテープを巻きつけてください。蛇口を少し開けて、水をチョロチョロと出しておくことで凍結しにくくなります。流した水は容器にため、洗濯などに使用してください。

## ▼凍結しやすい場所

- ・むき出しになっている水道管
- ・建物の北側にある水道管
- ・風が強くあたるところにある水道管
- ・給湯器
- ・日常的に水道を使用していない留守宅や空き家

## ▼凍結して水が出ないときは

自然にとけるのを待つか、タオルをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。

※熱湯は破裂の恐れがあるため絶対にかけないでください。

## ▼水道管が破裂したときは

メーターボックス内のレバーをメーターと反対側へ倒すか、止水栓を右に回して水を止めてください。破裂した部分に布かテープを巻きつけて応急措置をし、市指定給水装置工事業者に修理の申し込みをしてください。アパートや借家などは、管理会社や大家さんに連絡してください。

## 休日は水道組合の当直へ

休日の水道関係の相談は、市役所南の市上下水道工事店協同組合（☎42-5578）へ連絡してください。

**当直日** 土・日曜日、祝日 9時～17時